

第4章 龍 龍
筋骨隆隆

スマートで引き締まり生き生きとした龍の造形は、たくましさ表現させれば日本彫刻史上ならぶもののない鎌倉彫刻に、見事に表現されています。ここでは十二神将像や龍燈鬼立像、舞楽面にあらわされた龍をご紹介します。舞楽装束には、龍がちょっとユーモラスな姿を見せています。立派なだけじゃない、かわいらしい龍にもご注目ください。

舞楽面 陵王
Bugaku Mask: Ryōō

木造、彩色 鎌倉時代・13~14世紀
和歌山・丹生都比売神社伝来
水野忠弘氏寄贈 C-14



十二神将立像 辰神
The Dragon General,
One of the Twelve Divine Generals

木造、彩色・截金、玉眼
鎌倉時代・13世紀
京都・浄瑠璃寺伝来 C-15



陵王補襦
Bugaku Costume (Ryōō) with
Clouds and Dragon Rounds
for the Ryōō Role

唐織(絹)、組紐(絹)
江戸時代・19世紀 I-249

龍燈鬼立像(模造)
The Ryūtōki Demon (Copy)

森川社園作
木造、彩色
明治時代・19世紀 C-17
原品：国宝、鎌倉時代・13世紀
奈良・興福寺所蔵



特集 博物館に初もうで 謹賀辰年 一年の初めの龍づくし
令和6年(2024)1月2日発行

執筆：児島大輔、長倉絵梨子 撮影：藤瀬雄輔、吉岡由哲ほか 翻訳：足立奈緒子(以上、東京国立博物館)
デザイン・印刷：株式会社アイワード 編集・発行：東京国立博物館

© 2024 東京国立博物館 Tokyo National Museum

表紙作品：龍虎図屏風 右隻 Dragon and Tiger 曾我直庵筆
紙本墨画 安土桃山~江戸時代・17世紀 A-125

*作品データは、作品名称、作者、制作地、材質技法、時代・世紀、寄贈者等、当館の所蔵番号の順に記しています。

◎重要文化財

龍

年の初めの
謹賀
辰年

特集 博物館に初もうで

令和6年(2024)1月2日(火)~28日(日) 東京国立博物館 本館特別1室

Thematic Exhibition
New Year's Celebration at the
Tokyo National Museum:
The Year of the Dragon

あけましておめでとうございます
令和6年(2024)は辰年です。「辰」は十二支の5番目にあたります。古代中国の天文学に端を発した十二支は、東アジアの人びとの生活に深く浸透し、方角、月日や時刻、そして12年で一巡する年まわりを示すようになりました。十二支にあてられた動物を十二支獣と呼び、辰には龍が当てられます。

龍は十二支獣のなかで唯一、想像上の動物です。本特集では、龍をモチーフとした作品を四つのテーマで紹介することで、辰年の始まりを寿ぎます。技巧を凝らした作品の数々が見せる、龍のたくましく堂々とした姿や、ユーモラスな表情をお楽しみください。みなさまのこの新しい年が、龍のごとく飛翔する一年でありますように。そして、本年も東京国立博物館をどうぞよろしく願いたします。

Happy New Year! 2024 is the Year of the Dragon. To celebrate, this exhibition introduces a variety of objects that feature dragons, a popular motif in Asian painting and calligraphy. Dragons often appear as powerful and imposing creatures, but they can also be depicted in humorous ways. Please join us in celebrating the beginning of the New Year with this exhibition.

第1章 龍 長

流麗闊達
めでたし書画



◎五龍図巻 Five Dragons
伝陳容筆 紙本墨画淡彩 中国 南宋時代・13世紀 TA-363



芝園臥龍梅記並詩歌 The Dragon-Shaped Plum Tree
かのうながのぶ 成島司直筆 紙本着色墨書 江戸時代・文化11年(1814) B-1234

第3章 龍 龍
細工は流流仕上げを
ご覧じろ

宝剣の刀装具にあらわされた龍は肉眼で見るとは難しいほど細やかにつられています。稜花盆の龍は、鱗の一枚一枚を螺鈿で細かく表現することで、見る角度によって色が微妙に変化し、まるで生きているかのようです。そして、各部が自由に動く仕掛けをもった「自在置物」の龍の細工はまさに驚異的。想像の賜物である龍に、命を吹き込むかのような細やかで巧みな技をお楽しみください。

中国の皇帝や天皇による堂々とした「龍」の字。瑞獸の龍は皇帝の象徴でもありました。水墨の龍を得意とした陳容の作と伝わる中国の五龍図巻は美術愛好家垂涎の作品です。こうした中国絵画の影響を受けた日本の龍虎図屏風の龍(表紙参照)も負けずこちらを眺めます。龍が横たわった姿になぞらえた臥龍梅など、目出度い書画はまさに愛でたい書画です。



楷書四字軸
「龍飛鳳舞」
Calligraphy in Standard Script: "Dragon Flying, Phoenix Dancing"
康熙帝筆 蠟箋本墨書 中国 清時代・康熙25年(1686)
高島菊次郎氏寄贈 TB-1272



龍虎二大字
Two Large Characters:
"Dragon" and "Tiger"
後陽成天皇筆 紙本墨書
安土桃山~江戸時代・
16~17世紀
太田松子氏寄贈
B-2880



北齋漫画 二編
Volume 2 of Hokusai Manga
かつしかほくさい
葛飾北齋筆 紙本墨書
江戸時代・19世紀
QA-3006-2



梨地水龍瑞雲文蒔絵宝剣
Hōken Style Sword Mounting with
Water Dragons and Auspicious Clouds
金具: 加納夏雄作
木製漆塗、赤銅、金、銀など
明治6年(1873) F-262-2

第2章
龍は何しに日本へ?



五彩龍濤文長方合子
Box with Dragons and Waves

磁製 中国 景德鎮窯「大明方曆年製」銘
明時代・万暦年間(1573~1620)
広田松繁氏寄贈 TG-2542



◎雲龍金描朱漆箱
Box with Dragons and Clouds

木製漆塗 朝鮮 朝鮮時代・17~18世紀 B-1768附



盤龍鏡
Mirror with Dragons

岡山県備前市 鶴山丸山古墳出土
青銅製 古墳時代・4~5世紀 J-33970

染付登龍門図輪花大皿
Dish with a Carp Ascending a Waterfall

磁製 江戸時代・19世紀
平野耕輔氏寄贈 G-4497



古代中国人の想像力によって生み出された龍はアジア各地へと伝わりました。ここでは各地で制作されたさまざまな龍の造形をお楽しみいただけます。黄河の急流、龍門を遡ることのできた鯉は龍へと変じると信じられていました。これが立身出世の関門「登龍門」の語源です。染付の大皿には、まさにその鯉が描かれています。龍を足元に従える中国の観音像は、日本ではキリシタンがマリア像として礼拝したものです。

龍文玉璧
Disc (Bi) with Dragons

玉製 中国
戦国~前漢時代・
前4~前1世紀
TJ-694-1



◎マリア観音像
The Bodhisattva Kannon as the Virgin Mary

磁製 中国 徳化窯
明~清時代・17世紀
長崎奉行所旧蔵品 C-612



青花貼花龍文燭台
Candlestick with Applied
Dragon

半磁製 ベトナム
永治2年(1677) TG-2731

自在龍置物
Articulated Dragon

里見重義作 銀製 銀造
明治時代・20世紀
E-13097



◎龍濤螺鈿稜花盆
Foliolate Tray with a Dragon and Waves

木製漆塗 中国 元時代・14世紀 TH-9